

## 東京学芸大学紀要（教職大学院）投稿要領

1. 投稿できる者

- (1) 教職大学院の専任教員（以下「専任教員」という）は、教職大学院紀要に投稿するものとする。他学系紀要への投稿を希望するときは、当該学系の紀要編集会議の承認を得ること。
- (2) 客員教授及び客員准教授、並びに特任教員及び附属学校の専任教員は、教職大学院紀要に投稿することができる。その場合は、専任教員の紹介を経て、教職大学院紀要編集会議（以下「編集会議」という）の承認を得ること。
- (3) 名誉教授は、教職大学院に投稿することができる。その場合は、編集会議の承認を得ることとし、作成経費は教職大学院の負担とする。
- (4) 共同執筆した論文を投稿する場合は、投稿責任者を学内教員（第1号の教員をいう。以下同じ）の中から定めるものとする。ただし、ファーストオーサーは、学内教員以外でも可とする。

2. 投稿論文数

- (1) 紀要に投稿できる論文数は、単独論文と共同執筆した論文を合わせて、一人原則3本までとする。3本を超えて投稿する場合、4本目以上は作成経費を本人負担とする（論文1本当たりの作成経費は、教職大学院紀要の作成経費を全投稿論文数で除した金額とする）。
- (2) 単独論文の投稿は、一人1本のみとする。

3. 発行及び本冊・抜刷の配布

紀要に掲載された論文は電子データのみでの発行とし、「東京学芸大学リポジトリ」上に公開する。本冊及び抜刷の印刷物作成、配布は行わない。

4. 使用できる言語

## (1) 論文本文

使用言語は自由とする。

## (2) 論文要旨（アブストラクト）

英語要旨と日本語要旨を必ず両方付けること。ただし、英語要旨と日本語要旨に加えて、その他の言語要旨を付けてもよい。

5. 投稿時の提出書類

投稿責任者となる学内教員は、投稿に際し、1論文につき次の(1)～(4)の提出書類4点を提出すること。なお、(1)・(2)の書類は、必ず投稿責任者が作成、記入すること。

## (1) 紀要投稿票

## (2) 紀要投稿チェックリスト

## (3) 原稿をプリントアウトしたもの（以下「印刷紙」という）

## (4) 本文・図・表を含む全ての原稿データ

6. 組版

- (1) 欧文、和文とも、横書は2段組版を原則とする。ただし、著述上の事情等により、やむを得ない論著の場合には、欧文、和文とも横書1段を選択することができる。
- (2) 和文の縦書は、2段組版を原則とする。

- (3) 論文要旨については、いずれの組版も横書1段とする。  
 (4) 図版・表等については、組版を参照のうえ任意に挿入することができる。

種類	組版	文字の大きさ	1頁標準文字数
欧文 横書 2段組	約 42 字×46 行× 2 段	明朝 9 ポイント相当 (半角使用)	約 3,864 字
欧文 横書 1段組	約 92 字×46 行× 1 段	明朝 9 ポイント相当 (半角使用)	約 4,232 字
和文 横書 2段組	24 字×46 行× 2 段	明朝 9 ポイント相当	2,208 字
和文 横書 1段組	49 字×46 行× 1 段	明朝 9 ポイント相当	2,254 字
和文 縦書 2段組	35 字×30 行× 2 段	明朝 9 ポイント相当	2,100 字

(参考：組版ごと出来上がり文字数)

## 7. 原稿の作成

- (1) 原則として A 4 判を用い、組版の種類及び 1 頁当たりの文字数を参考に作成すること。  
 (2) 活字は、原則として 9 ポイントを使用（欧文の場合は半角文字を使用）すること。  
 (3) 原稿は、電子データと印刷紙の両方を提出すること。

## 8. 論文の構成

### (1) 主題

ア 副題を付す場合は、主題と副題とが明確になるよう記述すること。

イ 論文を分載する場合は、各回に必ずその番号をつけ、前回分の掲載場所を表示すること。

### (2) 著者名

### (3) 本文

まえがき、本論、あとがき等

### (4) 注、資料

### (5) 文献欄

ア 引用文献、参考文献は、本文中に上付き数字<sup>1)2)3)</sup>等で示し、下記様式により本文の最後にまとめて記載すること。

[ a. 単行書の場合 ]

著者名：書名、版次（その単行書の一部であれば pp.00-00）、出版地（発行所）、出版年

[ b. 雑誌の場合 ]

著者名：論文の標題、雑誌名、巻号、ページ、発行年

[ c. インターネットの場合 ]

著者名：「ページ名」、サイト名（更新日）.URL、（最終閲覧日）

イ 脚注は、編集上の注記に用いるため、引用／参考文献には使用しないこと。

### (6) アブストラクト

必ず掲載すること。なお、欧文で書く場合は、欧文主題・副題、ヘボン式ローマ字による全著者フルネーム、欧訳された所属講座名等を記載すること。

